

2023年2月20日

豊中ロータリークラブ
会 長 様
幹 事 様
米山奨学委員長 様

ガバナー 宮里 唯子
地区青少年奉仕統括委員長/ガバナーエレクト 延原 健二
地区米山奨学委員会 委員長 坂田 妙子

米山奨学生世話クラブのお願い

拝啓 春寒の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は米山奨学事業に多大なるご支援を賜りまして誠に有難うございます。

さて2023学年度 新規米山奨学生につきまして、合計32名の合格者が決定致しました。貴クラブに下記の新規奨学生の世話クラブをご了承頂きたくお願い申し上げます。添付の回答用紙にカウンセラー名、奨学金振込口座など必要事項をご入力の上、2023年3月1日(水)までにガバナー事務所までご返送いただけますようお願い致します。

敬具

記

申込番号：23RY046154
氏 名：阿 吉賽罕 (アジサイハン)
性 別：女
国 籍：中国
大 学：大阪大学
奨学期間：2023/04/01～2025/03/31 (2年間)

<添付資料> 【●●RC】2023学年度 カウンセラー名と奨学金振込専用口座(3.1 必着)

【お知らせ】

新規米山奨学生、世話クラブ対象の『オリエンテーション』を2023年4月5日(水)に実施します。正式なご案内は追ってご案内させていただきますが、ご予約いただけますよう、お願い申し上げます。

日 時：2023年4月5日(水) 16:00～

場 所：シティプラザ大阪 2F

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-31 電話：06-6947-7702

国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL：06-6264-2660 E-mail：sugimoto@ri2660.gr.jp

下記にご記入の上、ガバナー事務所宛にご返送下さい。

☆ 貴クラブ名 _____ ロータリークラブ

☆ 2023 学年度奨学生カウンセラー名

フリガナ

ご芳名 _____ 様

☆ 奨学金送付先

銀行名 _____ 銀行

_____ 支店

預金種類 _____

口座番号 _____

フリガナ

口座名 _____

クラブメールアドレス _____ @ _____

※ 奨学金振込専用口座について

新しく口座を設けて頂く場合は、振込口座は必ずクラブ名義とし、簡略にして下さい。例として“東京ロータリークラブ”を“トウキョウ ヨネヤマ”とした名義で開設してください。この口座は米山の専用口座として扱い、次に世話クラブになられた時も続けて使える口座として下さい。

なお、簡略にする事が無理な場合は 24 文字以内で収まる名義にして下さい。

① 奨学金は奇数月の 20 日頃に翌月・翌々月分が（財）ロータリー米山記念奨学会より、貴クラブへ振り込まれ、例会日に奨学生にお渡し頂くこととなります。

② 4・5 月分奨学金につきましては、誓約書受領後の例会にてお渡しください。

返送先 ガバナー事務所 Mail: sugimoto@ri2660.gr.jp

2023 年 3 月 1 日（金）必着でお願いします。

7. 合格後の主な流れ(米山奨学生の義務)

- ◆ 新規奨学生オリエンテーション **当地区 4月8日(月)** は、出席必須です。
⇒オリエンテーションで「確約書」に署名することにより正式に奨学生となります。
⇒面接で日本語を話すことが難しかった方は、自己紹介できるように準備しておくことが望ましいです。
- ◆ 月1回以上の世話クラブ例会出席
- ◆ 世話クラブや地区の行事・奉仕活動への参加、スピーチの実施・期間終了式への出席
- ◆ 年2回の奨学生レポート(エッセイ)の提出
- ◆ 出国や休学は、届出が必要です(上限日数あり)



※合格辞退の場合は、当会所定書式にて3月1日(締切厳守)までに速やかにお知らせください。

以下、地区の年間スケジュール

2023年	
7月2日(日)	学友会総会 & 奨学生歓迎会(学友会主催)
9月	ポリオ勉強会
10月1日(日)	米山奨学生レクリエーション(宝塚歌劇観劇)
10月22日(日)	ポリオデー
11月	米山奨学生研修旅行(日帰り)
12月9日(土)	地区大会
2024年	
2月25日(日)	終了式・歓送会
4月8日(月)	2024学年度 新規奨学生オリエンテーション

2023年8月吉日

国際ロータリー第2660地区
米山奨学生世話クラブ
米山奨学委員長 各位
米山奨学カウンセラー 各位
米山奨学生 各位

2023-24年度ガバナー 延原 健二
2023-24年度地区米山奨学委員長 魚谷 健司

「2023-24年度 米山奨学生レクリエーション」のご案内

拝啓 大暑の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は米山奨学事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度も別紙の概要通り、「米山奨学生レクリエーション」を開催する運びとなりました。

貴クラブの米山奨学生とご家族、米山奨学委員長またはカウンセラーに是非ご参加頂きますようご案内申し上げます。委員長、カウンセラーがご欠席の場合は、必ず代理の方のご出席をお願い致します。もし奨学生が欠席される場合は、ロータリアンのみのご出席はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。

また、登録料につきましては、奨学生とご家族は無料とさせていただきますが、ロータリアンおよびご家族の皆様には参加者各位にてご負担頂きます。申込者多数の場合は、奨学生、カウンセラーを優先し調整させていただきますのでご了承ください。

敬具

※出欠のご返事は 2023年9月8日（金） 必着にてガバナー事務所へお知らせ下さい。

<添付資料>

1. 2023-24年度 米山奨学生レクリエーションの概要
2. 2023-24年度 米山奨学生レクリエーション参加申込書

以上



<添付資料1>

2023-24 年度米山奨学生レクリエーションの概要

日 時：2023年10月1日（日） 13：00～18：35

場 所：宝塚ホテルおよび宝塚大劇場

公演内容：宙組公演

ミュージカル・ノワール『PAGAD（パガド）』～世紀の奇術師カリオストロ～
原作／小説「Joseph Balsamo」アレクサンドル・デュマ・ペール著／
映画「BLACK MAGIC」グレゴリー・ラトフ監督 脚本・演出／田淵 大輔
ショー・スピリット『Sky Fantasy!』作・演出／中村 一徳

当日スケジュール：12：30～13：00 登録受付（宝塚ホテル 1F 宝寿 前）
13：00～15：00 懇親会（昼食）
15：00～ 宝塚大劇場へ移動
15：30～18：35 観劇（第1部と第2部の間に約35分間休憩含む）
18：35 自由解散

登録料：ロータリアン （観劇と懇親会 両方参加の場合） 12,000 円
（観劇か懇親会 いずれかに参加の場合） 6,000 円
ロータリアン家族（観劇と懇親会 両方参加の場合） 9,000 円
（観劇か懇親会 いずれかに参加の場合） 4,500 円

（奨学生とそのご家族は無料です）

参加申込先：ガバナー事務所

Email:sugimoto@ri2660.gr.jp

登録料振込先

りそな銀行 大阪営業部

普通 1954422

ロータリー第2660地区 米山奨学生活動費

参加申込み締切り：2023年9月8日（金）

登録料振込締切り：2023年9月22日（金）

※ 恐れ入りますが、
クラブにて取りまとめの上ご登録を
お願い致します。



2023-24年度米山奨学生レクリエーション参加申込書

2023/10/1(日)

於: 宝塚ホテル・宝塚大劇場

クラブ名:

RC

◇米山奨学生及びその家族 ※お子様の観劇の年齢制限はありません

氏名	続柄	小学生以下 の場合年齢を お書き下さい	参加されるものに○を付けて下さい			
			懇親会		観劇	
	本人					無料
						無料
						無料
						無料

◇ロータリアン (懇親会+観劇 12,000円 どちらかのみ 6,000円)

氏名	参加されるものに○を付けて下さい			いずれかに○
	懇親会		観劇	
				12,000円/6,000円
				12,000円/6,000円
				12,000円/6,000円

◇ロータリアンご家族 (懇親会+観劇 9,000円 どちらかのみ 4,500円)

氏名	続柄	小学生以下 の場合年齢を お書き下さい	参加されるものに○を付けて下さい			いずれかに○
			懇親会		観劇	
						9,000円/4,500円
						9,000円/4,500円
						9,000円/4,500円

合計金額

<振込先>

振込先: リソナ銀行 大阪営業部
普通 1954422

ロータリー第2660地区 米山奨学生生活動費

* 当日は出来るだけ奨学生と一緒に受付にお越しください。

申込は2023年9月8日(金)必着 Email:sugimoto@ri2660.gr.jp

お振込みは2023年9月20日(水)までお願い致します。

2023年9月7日

国際ロータリー第2660地区
2023学年度米山奨学生世話クラブ
会長・クラブ米山奨学委員長・カウンセラー
各位

ガバナー 延原 健二
地区米山奨学委員会 委員長 魚谷 健司

米山梅吉記念館訪問 日帰り旅行のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は米山奨学活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、お世話になっている世話クラブ、カウンセラーに感謝を申し上げるとともに、今年度も奨学生が日本のロータリーの父、米山梅吉翁の遺徳を偲びロータリー運動の良き理解者となり、日本と母国との懸け橋となるための一助として、奨学生とロータリアン（自由参加）による米山梅吉記念館日帰り旅行を企画致します。

御手数ではございますが、貴クラブ奨学生に参加・不参加の意向をご確認下さい。カウンセラーはじめ世話クラブのロータリアンの皆様のご参加も歓迎いたします。なお、募集人員に限りがございますので、昨年のツアーに参加していない継続奨学生および新規奨学生を優先に、先着順に受付け致します。定員となり次第締切りますので、お申し込みはお早めをお願い致します。返信用紙に必要事項をご記入のうえ、ガバナー事務所（sugimoto@ri2660.gr.jp）へ10月20日（金）までにお送りください。

敬具

記

日時：2023年11月25日（土） 07:00 新大阪駅 千成びょうたん前 集合
旅程：7:36 新大阪発（ひかり640号）→9:57 三島着
梅吉記念館訪問（約1.5時間）
昼食・観光
15:46 三島発（ひかり517号）→17:57 新大阪着
17:57 新大阪駅着予定 解散
費用：米山奨学生 無料 ロータリアン1名 33,000円
備考：参加人数によって、費用は多少の変動がございます事をご了承下さい。

以上

<添付1>【申込用紙】（●●RC）23-24 米山梅吉記念館訪問 日帰り旅行

米山奨学生レクリエーション 報告

米山奨学委員会 委員

小切間 俊司 (大阪東RC)

日 時：2023年10月1日(日) 13:00~15:00

会 場：宝塚ホテル1階宝寿

参加者：延原健二DG、山本博史米山記念奨学会理事/PDG、上本博IM2AGE/委員、
地区米山奨学委員長・委員、クラブ米山奨学委員長・カウンセラー、
ロータリアンご家族、米山奨学生・ご家族、米山奨学生学友会(関西)

去る10月1日(日)、米山奨学生レクリエーションが開催されました。

まず、13時から昼食懇親会が宝塚ホテル1階宝寿にて開催され、総勢約130名が参加しました。1テーブル8名ずつで、概ね、奨学生と世話クラブカウンセラーが隣合わせになるように座りました。

司会のハツ橋 直米山奨学委員による出席者紹介からスタートし、延原健二DGの開会挨拶では、本日、宝塚歌劇の公演が急遽中止となったことを受け、米山奨学生のみなさんに一つ楽しみとなる情報として、10月22日に開催されるイベント(END POLIO NOW チャリティーハロウィンパーティー)の紹介をなさいました。

次に、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事であられる山本博史PDGが挨拶され、米山奨学生へ、「懇親を深めていただきたい、絆を深めていただきたい、そして、将来にわたって交流を深めていただきたい」とのお言葉をおかけいただき、続いて、乾杯のご発声をしていただきました。

会食が始まった後、食事が一段落したところで、司会を呉偉偉次年度学友会会長に交代し、奨学生が1人1分の持ち時間で、壇上に上がって近況を報告しました。ホストクラブに温かく迎えられ歓迎されている様子、カウンセラーやその家族との交流の様子、他方で、研究や就職活動に励んでいる様子など、奨学生が日本語で生き生きと語っていたのが印象的です。

最後に、魚谷健司委員長による閉会挨拶がなされ、ポリオの根絶こそロータリークラブの最優先課題であること、また、米山奨学生制度の素晴らしさ、そして、それを支える関係者への感謝等を述べられ、昼食懇親会は、和気あいあいとした温かい雰囲気の中、閉会しました。

(予定では、続いて宝塚大劇場へ移動して宝塚歌劇を観劇する予定でしたが、残念ながら、歌劇団の事情により急遽休演となったため、観劇は中止になりました。)





ロータリー米山記念奨学金 指定校ご担当者 説明会

日時:2023年7月14日(金)15:00~17:00
会場:ガバナー事務所 会議室(ZOOM 併用)
司会:地区米山奨学委員会 委員 上瀬 匠
Zoom ID: 863 5062 2056 PASS: 810563

開 会

配布資料確認 参加担当者紹介	委員	上瀬 匠
開会挨拶	ガバナー	延原 健二
米山奨学委員会の活動方針と指定校へのお願い	副委員長	辻本 啓之
米山奨学生学友会の活動	米山奨学生学友会(関西)副会長	呉 偉偉
閉会挨拶	委員長	魚谷 健司
質疑応答	副委員長 米山奨学生学友会(関西)副会長	辻本 啓之 呉 偉偉

【配布資料1】

- ① 出席者名簿
- ② 学校訪問資料
- ③ ハイライトよねやま Vol.277 278 279

【配布資料2】

- ④ アンケート回答

【別冊】

- ⑤ ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典 2022-23
- ⑥ 米山学友会(関西)会報 (Vol.39)

【資料 ①】

2024学年度米山記念奨学金 指定校ご担当者説明会 出席者（敬称略）

（地区）

役職	氏名	クラブ
ガバナー	延原 健二	大阪大淀
地区代表幹事	前田 要之助	大阪東淀ちゃやまち
委員長	魚谷 健司	大阪西南
副委員長	辻本 啓之	大阪城北
副委員長	大道 一弘	大阪城東
副委員長	松田 振興 ●	大阪城南
//	上瀬 匠	大阪中之島
//	ハツ橋 直 ●	大阪南
//	上本 博	吹田
//	小切間 俊司 ●	大阪東
//	中西 美代子	高槻
//	鎌田 誠	大阪御堂筋本町
//	中村 武 ●	池田くれは
//	原 和永 ●	豊中
//	新井 繁太郎 ●	東大阪東

米山奨学生学友会（関西）副会長	呉 偉偉
-----------------	------

（指定校）

● はzoom参加

学校名	ご出席者1	ご出席者2
大阪大学	ケリー 優子 ●	
大阪教育大学	澤木 菜月	
大阪公立大学	篠原 智子	
大阪経済大学	藤原 広太郎	劉 翔
大阪経済法科大学	吉田 圭吾 ●	結城 杏 ●
大阪工業大学	張 翔	
大阪産業大学	廣田 直子	山下 真央
大阪商業大学	門野 敦絵 ●	
大阪女学院大学	葛西 崇文	高木 芳子
追手門学院大学	郷田 真由 ●	
関西大学	吉田 陽子	天野 航生
関西医科大学	椿井 香織	森 舞香
関西外国語大学	持留 みどり ●	
大阪学院大学	孟 涛 ●	
近畿大学	伊東 絵美 ●	
相愛大学	趙巴寒 ●	
摂南大学	中村 智大	
大阪国際大学	堀田 美文 ●	
大阪成蹊大学	福山 隆 ●	
立命館大学	後藤 元吾 ●	
日本学生支援機構 大阪日本語教育センター	松田 明宏	
大阪ハイテクノロジー 専門学校	福士 暁也	
滋慶学園/学校法人 コミュニケーションアート	木村 容子	

会場 26
Zoom 18

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会とは

日本で学ぶ外国人留学生に対し、日本全国のロータリー会員の寄付金を財源として、奨学金を支援する民間の奨学団体です。設立から一貫して外国人留学生を支援し、日本と世界とを結ぶ懸け橋となる人材を育成しています。

70年以上の歴史をもつ日本のロータリー独自の国際奨学事業です

1952年、東京ロータリークラブが海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する「米山基金」を構想したことに始まります。日本で最初のロータリークラブを創始した米山梅吉氏の功績を記念して、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリー会員の願いが基になっています。1967年に文部省（現在の文部科学省）の許可を得て財団法人化されました。

2. 米山記念奨学事業の特長



最大の特長：世話クラブ・カウンセラー制度

- ◆ ロータリークラブが世話クラブとなり、会員がカウンセラーとして奨学生をサポートします。
- ◆ 米山奨学金制度は、その設立の経緯から、「交流」を目的としたプログラムです。奨学生は、毎月1回以上世話クラブの例会（※）に出席し、奨学金が支給されます。
- ◆ 奨学生は、世話クラブ例会や世話クラブが所属する地区の開催行事、奉仕活動に参加します。ロータリー会員や同期奨学生との交流を通じて、より深く日本を知り奉仕の精神を学んでいただけます。奨学生は、採用地区に所属し、世話クラブのサポートを受けます。

（※）例会：世話クラブで開催される会合で、時間帯はクラブによって異なります。

民間最大の国際奨学事業です

年間の奨学生採用数は、日本全国34地区で約900人（継続を除く新規採用は約600人）。国内の民間留学生団体で最大の事業規模です。

3. 元奨学生の活躍

これまでに131カ国、約23,500人を支援

米山学友は、母国や日本国内に留まらず、様々な国と地域の政府や民間において、日本と母国の懸け橋として、活躍しています。



学友会：国内33・海外10

学友会は、元米山奨学生の同窓会組織です。国内は全国に33、海外は、台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマー、ベトナムに組織があります。国内外で、学友同士のネットワーク作り、総会開催、交流イベント、海岸清掃、被災地支援、福祉施設訪問、奨学金支給など多様な社会奉仕活動をしています。

4. 奨学金プログラム(指定校推薦制度) ※詳細は、募集要項をご参照ください

- ◆ ロータリー地区ごとの選考委員会が学内募集を依頼する指定校を選定します。
- ◆ 米山奨学生としてふさわしい学生をご推薦いただき、更に地区・世話クラブ・学校が一体となって米山奨学生を支援する体制ができるようご理解とご協力を宜しくお願いします。
- ◆ 指定校経由で受け付けるため、学生個人による応募は受け付けません。
- ◆ 指定校に選定されても、推薦者が必ず合格するとは限りませんのでご了承ください。

奨学金	月額	期間
1. 学部課程	10万円	最長2年
2. 修士・博士課程	14万円	
3. 地区奨励(大学・大学院以外)	7万円 または 10万円	1年 または 最長2年

給付型
奨学金

指定校通知について

- ◆ 8月初旬に奨学会 HP で指定校を発表し、指定校ご担当者にメールでお知らせします。
- ◆ 申込登録のための専用 WEB 画面のアドレスと登録方法を同様にメールでご案内します。
- ◆ 奨学金支給年 4月時点で、指定校(指定キャンパス)に通学する学生のみ応募可能です。
⇒ 4月以降に進級などのため募集地区外のキャンパスに通学する学生は、そのキャンパスが「指定校」になっていなければ応募不可です。
- ◆ 短期大学、高等専門学校など地区奨励奨学金に該当する学校は、「地区奨励奨学金制度」の指定校になっていなければ、学生の推薦はできません。

当地区の地区選考の目安 と 募集人数

※募集要項における絶対基準ではなく、地区が面接において重視する項目です

- ①被推薦者が複数の場合、1カ国が占める割合を出来るだけ50%以内にしてください。
- ②ロータリー活動に関心を示し、積極的に協力する学生を求めます。

募集人数 33.5名

5. 米山奨学生に期待されること

- ◆ ロータリークラブを通じて日本の文化、習慣に触れる
- ◆ 交流を通じて国際親善・奉仕の精神を学ぶ
- ◆ 将来、日本と母国・世界を結ぶ「懸け橋」になる

⇒ 募集要項における選考基準にまとめると：

「学業、異文化理解、コミュニケーション能力における熱意や優秀性」

成績優秀者のみや
経済的に困窮している人が
優先ではありません

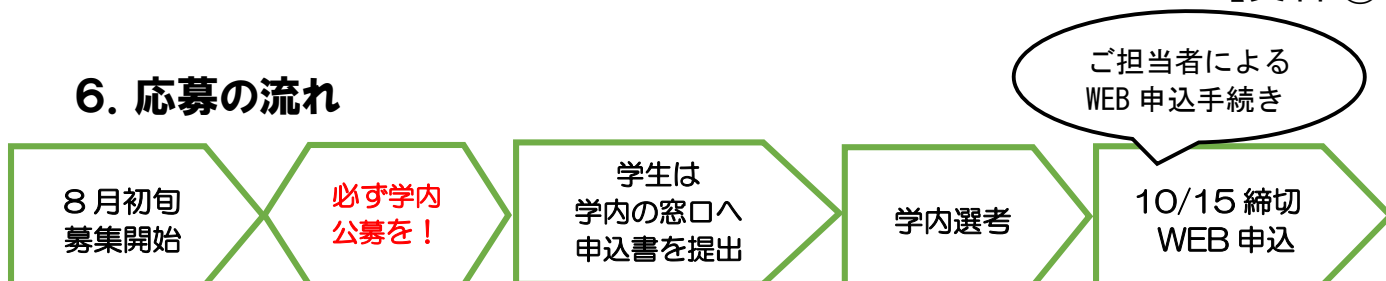


世話クラブ例会への出席は、相互交流の基本として位置づけています

合格後のミスマッチを防ぐため、応募者と指導教員には、米山奨学金が“世話クラブを中心に交流することを重視する奨学金”であることをご理解いただき、ご推薦くださるようお願いいたします。

- ◆ 奨学金は、日本全国のロータリー会員の寄付金が財源であること
- ◆ 毎月1回以上の世話クラブ例会や地区行事など年間を通じて参加義務を伴う奨学金であること
- ◆ 長期の留学・出国・休学予定、多忙により時間が無い等の状態でないことを予めご確認ください
- ◆ 学籍状況(学費納入不足・成績不良・単位不足等による留年や退学などの学籍移動の可能性がないこと、学則違反や問題行動がないこと)をよく確認のうえご推薦ください

6. 応募の流れ



- ◆ 特定の教員・研究室・専攻に偏らないよう、学内で公募をしてください
- ◆ 指導教員以外の推薦状・推薦行為は受け付けません（指導教員未定で指導的立場の教員が記載する場合を除く）
- ◆ 応募者は、奨学会所定書式の申込書に、全て日本語で自書し、学内の窓口へ提出します
- ◆ 指定校ご担当者は、応募者の申込書を取りまとめ、専用 WEB 画面で申込手続きをしてください
申込登録方法は、指定校通知の時に奨学会からご案内します（申込書原本の送付は不要です）

合格後、奨学生一人ひとりの世話クラブとカウンセラーを選定・決定します。受入れ準備が完了した段階で辞退が発生するのを極力避けるため、国費等を含む他財団奨学金を優先希望する場合は、なるべく併願にならないようご理解をお願いします。

※ 以下に該当した場合は、至急、地区または奨学会に推薦校担当者を通じてご連絡ください。

- ・ 申し込み後、奨学生の義務・資格に関わる変更の可能性が生じた場合
(怪我、妊娠、病気、在留資格変更、編/入学者の入学校可否など)
- ・ 合格後、世話クラブ例会の曜日が地区から通知された場合で、必修科目の授業が重なり、どうしても例会に出席できないことが判明したとき
- ・ 面接試験時に例会出席可能日を聞かれた場合で、出席可能日が変更になったとき

世話クラブ、カウンセラーは、地区の選考試験後すぐに選定されて受け入れ準備をします。特に、怪我、妊娠、病気などの場合は、世話クラブ、カウンセラー制度を行う上で、関係者で状況を把握し、事前に危機管理上の配慮を検討する必要があります。また、奨学生になった時でも、同様の対応が必要です。なお、奨学生としての義務が果たせない場合は、申し込みや合格を辞退していただきます。

当地区の面接日：遅刻・無断欠席がないよう徹底してください

2024 年 1 月 20 日(土) 午前・午後

奨学会からご担当者へ面接日・集合時刻をメール連絡します

選考について

書類

- ・ 申込書
- ・ 指導教員の推薦状
- ・ 研究計画書：研究の貢献度や社会に与える影響
- ・ 小論文：留学目的・熱意・将来性

面接

- ・ 日本留学の目的と明確な研究課題、将来目標
- ・ 交流と親善への熱意、ロータリーへの関心度
- ・ 人柄
- ・ コミュニケーション能力 ≠ 日本語力

- 全国統一の選考基準により書類と面接の総合評価で合否決定します。
- 募集要項で定めた応募資格を満たしている応募者全員に面接を受けていただきますので、書類選考のみで合否通知されることはありません。
- 研究計画書は、全ての応募者が提出必須です。専門用語で説明するのではなく、学習・研究の進捗状況や予定を専門外の人を読んでも分かるように書いてください。
- 選考結果は、面接が終了した地区より順に専用 WEB 画面で確認可能です。合格通知は3月下旬までに奨学生ハンドブックとともに学校ご担当者あてに送付しますので、合格者にお渡しください。
- 合格内定者には、3月1日締切までに連絡先などの情報を WEB 登録していただきます。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol.

277

2023年4月13日
発行

1. 第5代よねやま親善大使が決定！

昨年12月から約2カ月間にわたって行われた「第5代よねやま親善大使」の募集には、多くの優秀な学友から応募が集まり、最終的に33人の応募者数となりました。

募集締め切り後、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、ご応募いただいた方々の中から、以下の3人が第5代よねやま

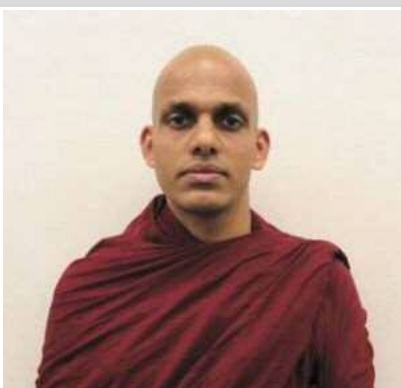
親善大使に決定しました。

任期は2023年7月から2年間。日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使の派遣をご希望される方は、当会事務局の広報担当へご連絡ください。



陳 瑤 (チン ヨウ)
(中国/2012-14/四日市東RC)

大手企業会社員。2018年度から2年間、第2750地区米山学友会会長を務め、今年度からは同学友会副会長として活動中。中国国家衛生健康委員会と厚生労働省、各医科・薬科大学のトップ層会談や医学術交流において通訳を担当。愛称は「マリオ」さん。



ウエンブエベ スマナサラ
(スリランカ/2018-20/京都中RC)

一燈園の研究者。「NPO アシヨーカ」を設立し、子どもの教育を支援。ウクライナ、スリランカ、インド、ネパールの学生らに対し、日本語、日本の文化・技術を教えながら、異文化理解促進、平和で幸せな世界をつくる活動に尽力している。



イメン ジェプリ
(チュニジア/2019-21/西宮RC)

東京理科大学勤務。外国人女性と日本人女性に奨学金を提供する団体(CWAJ)でボランティア活動中。視覚障害者への奨学金や、英会話教育を行う。36,000人のフォロワーを持つFacebookページ「Welcome to Japan」を運営し、日本文化や観光地を紹介。

2. 寄付金速報 — 3月も順調に推移 —

前年同期比

+ 5.9%

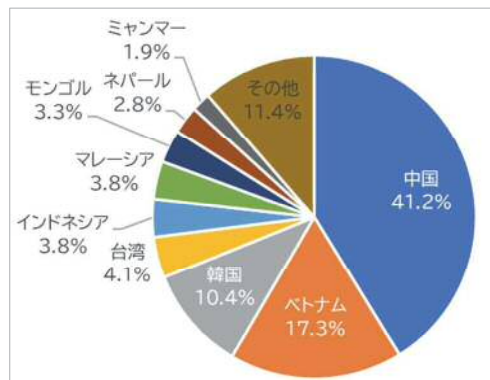
普 - 2.0% 特 + 10.1%

3月までの寄付金は前年同期と比べて5.9%増（普通寄付金:2.0%減、特別寄付金:10.1%増）、約6,700万円の増加となりました。3月単月の

寄付合計金額が5,000万円を超えたのは、前年度を除くと2018年度以来となり、コロナ禍以前の寄付状況に戻りつつあります。今年度も残り2カ月半余りとなりました。ご寄付を今年度実績扱いにするためには、6月30日（金）までに当会口座に着金するようご送金ください。よろしくお願いたします。

3. 2023 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2023 学年度の奨学生は 901 人となりました。新規採用者 648 人、継続者 253 人です（4 月 7 日現在）。国・地域別では、中国 41.2%、ベトナム 17.3%、韓国 10.4%、台湾 4.1%、インドネシア、マレーシアが同率で 3.8% の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 845 人（学部 441 人、修士 237 人、博士 167 人）、地区奨励奨学金が 22 人、クラブ支援奨学金が 13 人、海外学



友会推薦奨学金が 4 人、海外応募者対象奨学金が 17 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

4. タイ米山学友会 総会開催

2 月 25 日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催されました。3 年ぶりの対面開催となった今回、26 人の学友に加え、日本からは、ロータリアンとその家族を含む 7 人が参加し、会場には 33 人が集いました。

総会では、委員会の開催や会計報告のほか、病院への医療機器寄贈、小学校への遊具やスポーツ用品寄贈といった年間の活動報告、今年 8 月に開催される「再会 in 関東」についてのアナウンスがありました。同学友会会長のワラウト・ブンロッドさん（1995-97/福岡東南 RC）は、「ご参加いただいた多くの関係者と、日本か

ら足を運んでいただいたロータリアンの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。久々の対面開催でしたが、タイ学友会の強い結束力、協調性、積極性でやりきることができました。次年度も、より盛大に総会を開催できるよう頑張りたいと思います」と意気込みを語りました。



きれいな景色を背景に記念撮影

5. 米山学友が日本の高校生で出前講義

3 月 17 日、国際ロータリー第 2750 地区米山学友会が東京都立小平高等学校にて国際交流活動を行いました。この活動は、もともと東京米山友愛ロータリークラブと東京米山ロータリー E クラブ 2750 が共同主催していましたが、学校側の日程都合により、今回からは同地区の学友会が主催しています。



教室で一息つく講師たち

当日は、同校の 2 年生の生徒 269 人に対し、6 人の米山学友と 1 人の現役奨学生に加え、1 人のローターアクターが講師として参加。それぞれの講師が授業形式で 7 つのクラスを回り、日本語と出身国の言葉を交えながら、自己紹介や興味のある話題、自国文化について紹介しました。今回の活動を後援し、同行した東京米山ロータリー E クラブ 2750 の疋田淳子会長は「講師がしっかり準備して臨んだことで、活気と笑い声に包まれるクラスばかりで、大変有意義な授業になりました。ぜひこれからも継続してほしい奉仕活動です」と感想を述べました。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol.

278

2023年5月12日
発行

1. ベトナム南米山学友会が誕生！海外 10 番目

ベトナム南部、ホーチミン市を中心とする「ベトナム南米山学友会」が5月9日の常務理事会にて正式に承認され、海外10番目となる米山学友会が誕生しました。創立会員は28人、初代会長はホーライフーンさん（1973-75／桐生西RC）、副会長をタイヴァンナムさん（2007-11／千里RC）が務め、その他1人の会計、2人の監事、7人の理事、計12人の役員で運営されます。



ホーライフーン会長は「5月9日はわれわれにとって記念すべき日となりました。これから皆で一層団結し、世

の中、人々のため、頑張ってやっていきたい」と、意気込みを語りました。

ホーチミンでは2014年から米山学友がグループを形成し、児童・障害者・高齢者のための福祉施設への慰問などさまざまな奉仕活動の実績があり、今後さらなる活躍が期待されます。

2. 寄付金速報 — 今年度も残り1カ月半 —

前年同期比

+ 5.9%

普 - 1.1% 特 + 9.6%

4月までの寄付金は前年同期と比べて5.9%増（普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:9.6%増）、約6,960万円の増加となりました。送金が遅れてい

た普通寄付金の納入も回復し、2,088のクラブからご送金いただきました。また特別寄付金も創立記念寄付として17クラブから合計270万円という多額のご寄付をいただき、厚く御礼申し上げます。今年度も残すところ1カ月半となりました。引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

3. 米山学友が中心となった衛星クラブが誕生

第2680地区（兵庫県）で米山学友を中心とする衛星クラブ、宝塚ユニバースロータリー衛星クラブ（スポンサークラブ：宝塚RC）が3月6日付で認証を受け、正式に誕生しました。衛星クラブとは既存のクラブの中に作られるクラブで、8人の会員で結成が可能です。衛星ク



ラブ会員はスポンサークラブの正会員ですが、独立して例会を開き、細則や理事会も独自のものとなります。

同衛星クラブは10人の創立会員のうち8人が米山学友で、^{バクカキ}麦嘉輝さん（2017-18／尼崎西RC）が初代議長。毎月第1・第3火曜日の19時からオンラインで例会を開催します。

麦さんは、「クラブ名の『ユニバース』には『全世界、全人類』という意味を込めました。この多国籍な米山学友が集まったクラブの多様性を生かし、多くの仲間を集め、自由に討論を重ね、ともに世界や地域社会のための奉仕活動を積極的にしていきたいです。これから有志の仲間を増やして活発に活動していきます」と、意気込みを語りました。

4. さいたま大空RCが創立10周年！

米山学友と財団学友によって設立されたロータリークラブ、さいたま大空RC（第2770地区）の創立10周年記念式典が4月22日、さいたま市内で開催され、創立当時のガバナー・渡邊和良氏のほか、恵川一成特別代表、クラブの成長を見守ってきた歴代ガバナーや地区米山関係者などロータリアン、学友ら約90人が祝福にかけつけました。

同クラブは2013年に設立され、創立会員全員が財団学友と米山学友という特色あるクラブです。15年度からは毎年欠かさず海外への教育支援、医療支援を実施しており、今年度はインドネシア・キルギス・モンゴルを対象に国際奉仕活動を行いました。

今回の式典は駅に隣接した商業施設内広場で行われ、クラブ名に象徴されるように、見上げれば大空が広がる会場での開催となりました。はじめに記念講演として、公益財団法人埼



玉県国際交流協会の職員2人と、大宮シティRC会員の谷垣智之弁護士が登壇。続いて、クラブ会長のチャンコントゥアンさん（2008-10/幸手RC）の開会点鐘、来賓祝辞、拡大特別委員長と特別代表への感謝状贈呈、ロータリー財団と米山奨学会への寄付金がそれぞれの部門委員長へ手渡されました。同クラブがこれまで

行ってきた国際奉仕活動の検証ビデオでは、現地から感謝の声が次々と届けられ、約10年間にわたる貢献の喜びを共に噛みしめました。

10周年記念事業として阮潔^{ゲン ケツ}実行委員長（2016-18/川口モーニングRC）から「モンゴル全国規模図書室設立

プロジェクト」が発表されると参加者から拍手喝采が沸き、オンラインで参加していたモンゴル米山学友会のナサンバヤル ボロルマー直前会長（2011-12/矢板RC）が代表して感謝を述べました。

5. 新奨学生の抱負「米山奨学生の名に恥じぬよう」

4月から新年度が始まり、新規奨学生として採用された648人の米山奨学生が全国各地で新たなスタートを切りました。多くの世話クラブが新規奨学生を迎え、カウンセラーとの対面、オリエンテーションや例会の参加などで奨学生が歓迎を受ける中、新たな環境で挑戦が始まる米山奨学生、韓国出身の韓熙那^{ハンヒナ}さん（2023-25/和歌山アゼリアRC）に意気込みと、これからの抱負をお伺いしました。

【韓熙那さん】

4月に初めて和歌山アゼリアロータリークラブの例会に参加させていただきました。毎週のように



例会で集まり、さまざまな奉仕活動が行われていることを目の当たりにし、とても素敵だと感じました。参加する前は何を話せばいいのか少し不安でしたが、ロータリアンの方々から気さくに話題を振ってくださり、リラックスしてコミュニケーションをすることができました。おかげで、親睦を深めることができ、とてもほっとしています。

これから積極的にクラブ行事などに参加し、日本についてさらに理解を深めていきたいです。米山奨学生の名に恥じぬよう、学業にも全力を尽くしてまいります。私がこうして学業に専念できることは、皆さまからのご支援があってこそ、という感謝の気持ちを忘れず、多くの方の役に立てる人材になれるよう努力してまいります！



1. 理事会開催 — 23 学年度から 9 人増の 889 人採用 —

6月5日、第39回理事会が都内会場にて開催され、全国から理事27人、監事2人が出席しました。

今回の理事会では、議長の若林紀男理事長の進行の下、主な議案として、2024 学年度奨学生採用数、2024 学年度募集要項、2023 年度事業計画案、資



産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長から

の提案説明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2024 学年度の奨学生採用数は、前年度から9人増加の889人(枠)とすることなどが決定しました。

2. よねやま親善大使 退任式・任命式開催

6月5日の理事会開催前、この6月末で退任となる第4代よねやま親善大使3人の退任式が行われました。記念品として感謝の盾などが贈られ、それぞれの大使が3年に及ぶ活動や支援への感謝を述べました。コロナ禍という、活動が制限された難しい環境の中、精力的かつ柔軟に活動していただき、心より感謝申し上げます。

その後、7月1日から正式に始動する第5代よねやま親善大使3人の任命式が行われました。



委嘱状を受け取った陳瑤さん(左)とウェンブウェベさん(右)

残念ながら、イメン ジェブリさんが体調不良により欠席となりましたが、全国各地の理事が見守る中、若林理事長から、出席した2人の大使へ委嘱状とタスキが手渡されました。

また、親善大使のセレモニー終了後、奨学会事務局にて第5代よねやま親善大使のオリエンテーションを開催。広報委員会の酒井善盛委員長を講師に迎え、親善大使の役割や心構えを学んでいただいたほか、第4代親善大使から、体



退任するカレンさん(左)、アヘゴさん(中央右)、李さん(右)

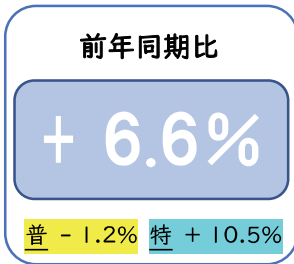
験談やアドバイスを話していただきました。

まもなく、第5代よねやま親善大使の3人が2年の任期で活動を開始します。米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーとの交流から、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話します。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。招へいをご希望の場合は、米山奨学会事務局の広報担当まで。



研修を終えた親善大使と酒井善盛広報委員長(中央左)

3. 寄付金速報—今年度の寄付実績は6月30日(金)まで—



5月までの寄付金は前年同期と比べて6.6%増（普通寄付金:1.2%減、特別寄付金:10.5%増）、約8,080万円の増加となりました。今年度予算の普通寄付金4億1千

万円までは、残りあと290万円ほど。特別寄付金8億7千万円は既に3,000万円超えて、今年度分の予算達成は確実となりました。ご寄付をいただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。尚、今年度の寄付実績は、**普通寄付金・特別寄付金ともに6月30日(金)までに当会銀行口座に入金記帳された分まで**となります。日程に余裕をもってご送金ください。

4. 博士号取得状況

2022-23学年度に博士号を取得した奨学生・学友は64人、これまでの累計は3,919人となりました(6月12日現在)。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。クラブ例会で贈呈することにより、学友との交流再開のきっかけとなるかもしれません。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。



文字盤の裏に氏名を刻印

申請方法

- 奨学期間終了後の取得でも対象です
- お届け先は、原則として世話クラブです
完成まで約2週間かかります

「学位記の写真」もしくは「学位取得証明書」と、当会書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へFAXかメールで送信。
(FAX:03-3578-8281 / email: alumni@rotary-yoneyama.or.jp)

5. 全国米山学友会代表者セミナー開催

国内外の米山学友会代表者を対象としたセミナーが5月13日、ハイブリッド形式で開催されました。都内会場には日本国内33の学友会のうち代表者27人が集い、海外学友会会長の9人がオンラインで参加しました。

若林紀男理事長、学友準備委員会の服部良男委員長からそれぞれご挨拶をいただき、事務局から学友会規程や標準会則に関する説明を行いました。「再会 in 関東」について朴貞子実行委員長からご案内いただいた後、タイ学友会のブンロッド ワラウト会長(1995-97/福岡東南RC)、第2740地区学友会のアメリカ・リズキー会長(2020-21/鹿島RC)、第2660地区学友会の頼育萱^{らいいくせん}会長(2006-07/やまと西和RC)の3人から、各学友会の活動や工夫について、事例発表が行われました。



セミナー終了後に全員で記念撮影

その後は4グループに分かれ、会員増強など、学友会の運営について活発な議論が交わされました。駒井英基学友担当理事からの講評後、懇親会が開催され、打ち解けた雰囲気ですらに親睦が深められたようでした。今回のセミナーを通じて、地区を越えて学友の結束が深まり、今後の情報共有・連携が進むことが期待されます。